

琉球大学学術リポジトリ

事業実施報告

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター 公開日: 2012-01-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/22749

1. 事業実施報告

沖縄・太平洋教育ネットワークイニシアチブ

Okinawa-Pacific Educational Network Initiative (OPENI)

1. 交流事業

1.1 学生交流

(1) 作文コンテストによる選考

作文コンテストの参加者の中から、奄美群島内の高等学校、沖縄本島北部所在高等学校、沖縄県内の島嶼地域に所在する高等学校、台湾・澎湖島の高等学校、国立澎湖科学技術大学及び沖縄県内の大学に作文募集を行い、パラオへ派遣する5人の高校・大学生を選考した。テーマ：「私の島の水問題」。

なお、グアム大学、ミクロネシア連邦短期大学、パラオ短期大学からそれぞれ学生1名と引率教員1名を当該大学の選考委員会で選抜してもらい、10月15日（日）～22日（日）までの日程で、沖縄及び奄美で研修会並びに交流会を行った。

(2) 学生交流

作文コンテストで選抜されたミクロネシア諸国の学生3名と作文コンテストで選抜された沖縄・奄美からの5名の高校・大学生との交流会を10月19日（木）～21日（土）に奄美で行った。

1.2 一般市民交流

一般市民のための公開講座を奄美で開設し、作文コンテストで選ばれたミクロネシア諸国の学生と沖縄・奄美の学生が参加し、交流を行った。

- ・時 期：2006年10月19日（木）～21日（土）の3日間。
- ・参加者：八重山諸島、宮古島、奄美大島からの一般市民と教育関係者。

2. 大学間協力の推進

(1) 北マリアナ短期大学と琉球大学との間の協力に関する大学間協定の協議を行った。共同研究や遠隔教育事業等についても協議した。

・時期：2006年10月2日～10月8日

(3) 琉球大学の1名がパラオへ出張し、島嶼に関する共同研究、大学間協定等について協議した。2006年8月9日～12日。

琉球大学とパラオ・コミュニティー・カレッジ（以下PCC）との間で次の分野に関する共同研究の可能性について協議した。

- ・島嶼地域における持続可能な発展に関する研究
- ・島嶼における観光開発と自然環境保護

協議相手は以下の方々であった。

パラオ短期大学学長 Mr. Patrick Tellei、

Dean of Academic Affairs Ms. Alvina Timarong

Executive Assistant to the President Mr. Todd N. Ngiramengior

なお、今後、引き続きパラオ短期大学の以下の研究者と共同研究の可能性について情報交換する予定である。

Maui, Victoria, Tourism & Hospitality

Garcia, Soledad, Tourism & Hospitality

Miles, Joel, Agriculture

Chilton, Tutii Elbuchel, Social Science

Kinsang, Frances Lee Brown, Development & Planning

(2) パラオ短期大学へ研究者1名を派遣し、共同研究の発表並びに研究打合せを行い、今後の共同研究と遠隔教育のあり方について意見交換した。

・時期：2007年2月6日（火）～12日（月）。